

★**医院ニュース①** 4月27日(金)は午後休診です。12時30分で診療を終了します。4月28日(土)は特別休暇です。終日休診です。大型連休中の予定もご参照ください。

★**医院ニュース②** 4月1日より北殿区の区議員(+衛生副部長)となりました。業務が大変多く以前やった箕輪ブロック医師会長以上に診療に悪影響が出る可能性があります。極力患者さんに御迷惑をおかけしないように致しますが、宜しくお願いいたします。

★**医院ニュース③** 4月16日(月)は伊那中央病院地域救急医療センターで夜間診療に従事します(午後7時~10時過ぎ)よって夕方方の診療は18時15分くらいで終了となります。(飯田の桜 ↓)



**日本呼吸器学会の非燃焼・加熱式タバコや電子タバコについての見解**

非燃焼・加熱式タバコやニコチン含有の電子タバコ(以下新型タバコ)には、従来型の燃焼式タバコと同様に依存性薬物であるニコチンが含まれています。これらの新型タバコは、「煙が出ない、あるいは煙が見えにくいので禁煙のエリアでも吸える」、「受動喫煙の危険がない」、「従来の燃焼式タバコより健康リスクが少ない」と誤認され、急速な広がりを見せています。しかしその安全性・危険性についてはよくわかっていません。世界をみると、まだまだ禁止している国も多いようです。世界保健機関はニコチンなどの蒸気を吸い込む電子タバコに関する報告書を発表し、「健康への深刻な脅威」として**未成年者への販売禁止、公共施設の屋内での使用禁止**などの規制を勧告しています。日本呼吸器学会では、**1. 非燃焼・加熱式タバコや電子タバコの使用は、健康に悪影響がもたらされる可能性がある。2. 非燃焼・加熱式タバコや電子タバコの利用者が呼出したエアロゾルは周囲に拡散するため、受動吸引による健康被害が生じる可能性がある。従来の燃焼式タバコと同様に、すべての飲食店やバーを含む公共の場所、公共交通機関での使用は認められない。**という見解を出しています。

非燃焼・加熱式タバコの主流煙中に燃焼式タバコとほぼ同レベルのニコチンや揮発性化合物(アクロレイン、ホルムアルデヒド)、約3倍のアセナフテン(多芳香環炭化水素物)等の有害物質が含まれていることが報告されています。

一方、ニコチン入り電子タバコ利用者から検出されるニコチン代謝物は、燃焼式タバコ利用者を基準(100%)とするとほぼ同等量(80-200%)が検出されるが、タバコ特異的ニトロソアミンの尿中

	新型タバコ(μg)	紙巻タバコ(μg)	比率(%)
ニコチン	301	361	84
ホルムアルデヒド	3.2	4.3	74
アクロレイン	0.9	1.1	82
ベンズアルデヒド	1.2	2.4	50

ホルムアルデヒド:発がん物質、アクロレイン:劇物、ベンズアルデヒド:香料等に使用される刺激性物質

4月	★4/27(金)は午前のみです。					
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	★4/28(日)は休診です				

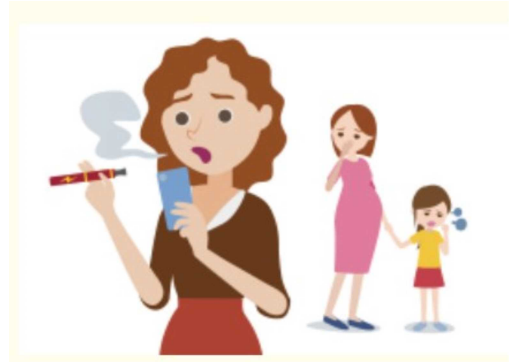
大型連休中の予定です。

4月27日	金	午後休診です[12:30終了]
4月28日	土	医院の特別休暇
4月29日	日	祝日
4月30日	月	振替休日
5月1日	火	通常診療
5月2日	水	通常診療
5月3日	木	祝日
5月4日	金	祝日
5月5日	土	祝日
5月6日	日	休み
5月7日	月	以後通常診療

代謝物は燃焼式タバコ使用者の1.5-4.2%、揮発性有害物質の代謝物は20-60%程度と少ないとする報告があります。しかし、体内に**有害物質**が取り込まれているのは明らかですし、この量が健康被害の低減につながる曝露量なのか、科学的根拠はありません。また、加熱によりエアロゾルを発生させる仕組みは、ニコチン以外のリキッド成分を分解して複雑な混合物を発生させ、**発癌性物質**に変化することが指摘されています。葉タバコを加熱してエアロゾルを発生させるタイプの電子タバコでは、土壌中から蓄積した**放射線元素のポロニウム**も、燃焼式タバコと同様に含有されています。新型タバコは周囲の人々への受動喫煙の危険が指摘されています。「煙が出ない、あるいは煙が見えにくい」とされていますが、特殊なレーザー光を非燃焼・加熱式タバコの呼気に照射すると、**大量のエアロゾルを呼出**していることが明白になります。燃焼式タバコ使用者の呼出煙(“見える煙”)と同様に、大量の**“見えにくいエアロゾル”**を呼出しています。世界保健機構では、「電子タバコのエアロゾルにさらされると、健康に悪影響がもたらされる可能性がある」と指摘しています。世界保健機構がレビューした複数の研究では、1)電子タバコ使用者の呼出煙中の**ニッケルやクロムなどの重金属濃度**は、燃焼式タバコの呼出煙よりも高い、2)PM2.5、ニコチン、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒドなどの濃度は燃焼式タバコの呼出煙中より低い、通常の大気中濃度の**14-40倍(PM2.5)、10-115倍(ニコチン)、2-8倍(アセトアルデヒド)、20%高い(ホルムアルデヒド)**、とされています。

新型タバコには「**受動喫煙者の健康を脅かす可能性がある**と考えることが合理的である」、と世界保健機構は述べています。特に、**呼吸器疾患を持つ患者さん、冠動脈疾患をもつ患者さん**、などにとっては有害な影響がでることが懸念されます。また、何よりも、このような有害物質を含む呼出煙を吸わされることを望む方はいないでしょう。新型タバコは、従来の燃焼式タバコに比べてタール(タバコ煙中の有害物質のうちの粒子成分)が削減されていますが、**依存性物質であるニコチンやその他の有害物質を吸引する製品**です。従って、利用者にとっても、受動喫煙させられる人にとっても、非燃焼・加熱式タバコや電子タバコの使用は推奨できません(以上日本呼吸器学会のコメントでした)。喫煙者は新型タバコになど行かずすっぱり禁煙をしましょう!!!

**禁煙のつもりが、かえってニコチン依存を助長** 「新型タバコで禁煙できる」といった誤解があるようですが、これを支持するデータは今のところありません。逆に、日本や諸外国での調査では、紙巻タバコと比較して**新型タバコを使っている人のほうが、かえって喫煙から離れづらくなっているという調査結果があります**。また、禁煙した人が使用した医療用医薬品の禁煙補助剤「バレニクリン」(チャンピックス)の使用量を比較したところ、新型タバコを使っていた人のほうがより多く必要としたという結果が示されています。



タマシギ親子

